

各 位

2026 年 5 月 29 日

会社名 株式会社エス・エム・エス・データテック
(コード番号 317A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 松原 哲朗
問合せ先 取締役 桐 義一
TEL 03-6222-0831
URL <https://www.sms-datatech.co.jp/>

チェックフィールド株式会社の株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ

当社は、通信システム、情報システム、オフィスオートメーションシステムに係わる技術及び運用についての調査、事業企画又、それらのコンサルタント業等を展開するチェックフィールド株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：目代純平）の全株式を取得し当社の完全子会社とするため、株式譲渡契約を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

当社は、今後の事業拡大およびグループ全体の競争力強化を目的として、チェックフィールド株式会社（以下「チェックフィールド社」）の全株式を取得し、完全子会社化することといたしました。チェックフィールド社は顧客の情報システム部への運用アドバイスから、ヘルプデスク・サーバ運用・キッティング等業務のアウトソーシング分野において高い専門性と豊富な実績を有しており、当社の既存事業との高い親和性を有しております。特に、両社が保有する技術・ノウハウ・顧客基盤を統合することで、より戦略的な事業展開が実現できるものと判断しております。

また、完全子会社化により、経営方針の統一や迅速な意思決定を可能とし、グループ全体としての機動的かつ戦略的な事業展開が実現できるものと判断しております。これらの理由により、当社はチェックフィールド社の完全子会社化を行うことが、企業価値の向上および株主利益の最大化に資するものであると考えております。

2. 株式取得の方法

当社は 2026 年 5 月 29 日にて、チェックフィールド社の発行済株式の全てを取得し、当社の完全子会社といたします。チェックフィールド社の株式譲渡代金は金銭にて支払いを行い、当該金銭は全額当社の自己資金を充当いたします。

3. 子会社となる会社の概要

(1) 名 称	チェックフィールド株式会社		
(2) 所在地	東京都文京区本郷二丁目 35 番 10 号		
(3) 代表者	代表取締役 目代純平		
(4) 事業内容	通信システム、情報システム、オフィスオートメーションシステムに係わる技術及び運用についての調査、事業企画又、それらのコンサルタント業等		
(5) 資本金の額	10,000,000 円		
(6) 設立年月日	1999 年 7 月 16 日		
(7) 大株主及び 持株比率	目代純平 65.0% 山下 元 35.0%		
(8) 当社との関係	記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。		
(9) 最近 3 年間の経営成績及び財政状況			
	2022 年 5 月 31 日	2023 年 5 月 31 日	2024 年 5 月 31 日
純 資 産	50,587,793	51,764,645	27,795,649
総 資 産	208,449,378	228,977,895	219,212,464
1 株 当 たり 純 資 産	252,939	258,823	138,978
売 上 高	267,031,385	281,662,315	290,589,613
税 引 前 当 期 純 利 益	3,261,066	1,545,521	▲23,887,233
当 期 純 利 益	2,559,517	1,176,852	▲23,968,996
1 株 当 たり 当 期 純 損 益	12,798	5,884	▲119,845
1 株 当 たり 配 当 金	—	—	—

4. 株式取得先の概要

株式取得先の相手は、3.(7)に記載の個人株主 2 名であり、また、各人と当社との間に資本・人的・取引関係はなく、関連当事者にも該当しません。

5. 取得株式数、取得価格及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0%)
(2) 取得株式数	200 株 (議決権の数：200 個)

	(議決権所有割合：100%)
(3) 取得価格	30,000,000 円 (1 株当たり 150,000 円)
(4) 異動後の所有株式数	200 株 (議決権の数：200 個) (議決権所有割合：100%)

6. 今後の日程

(1) 取締役会決議日	2026 年 5 月 29 日
(2) 株式譲渡契約締結日	2026 年 5 月 29 日
(3) 株式取得日	2026 年 5 月 29 日

7. 今後の見通し

本件株式取得による来期の連結業績に与える影響は現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には、適時に報告してまいります。

以 上